

科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

平成 29 年度 連携型共同研究助成募集要項

【岐阜女子大学】

1 趣旨

本制度は、科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の一環として、岐阜大学及び同事業の共同実施機関（岐阜薬科大学、本学及びアピ株式会社）が、岐阜県内の女性研究者の研究力向上を図り、研究者同士の交流・地域への定着、更には上位職登用に繋がる「地域循環型研究者育成」を目指して実施する。

2 申請者の要件

- (1) 本学に所属する女性研究者（研究分野を問わない。なお、特任教員、研究員を含むが、学部学生、大学院生、社会人大学院生は除く。）
- (2) 共同研究者には、他の連携機関に所属する研究者 1 名以上を含めなければ申請できない。なお、本学内のみの共同研究も申請できない。
- (3) 募集は、各連携機関が行うが他の連携機関のいずれかの共同研究者として参加する者は、本学の共同研究には申請できない。
但し、他の外部資金を得て、これまでに行っていた共同研究と重複して申請できないが、研究テーマが異なれば申請できる。

3 共同研究者の要件

- (1) 共同研究者は、連携機関の女性研究者とする。
- (2) 共同研究者に男性研究者を含むことができるが、同一機関の女性研究者を必ず 1 名以上含むものとする。
- (3) 共同研究者に連携機関以外の研究者を含めることが可能であるが、連携機関以外の研究者は研究費の支給は受けられない。
- (4) 共同研究者に学部学生、大学院生、社会人大学院生を含めることができない。

4 助成対象経費

連携機関の研究者が共同研究を行う経費を対象とする。但し、連携機関以外の研究機関に属する研究者は除く。

「助成対象経費の具体例」

- (1) 実験機材、研究データ収集のための備品、消耗遺品（額の確定調査に当たり個別に必要性を確認することがある。）
- (2) 勉強会、ワークショップ、研究成果発表会のための旅費（外国旅費は除く。）
- (3) 共同研究に関するホームページの作成及び維持管理費
- (4) 研究成果物としての報告書印刷費
- (5) 研究上必要な講師招聘のための旅費（外国からの招聘を含む。）
- (6) 諸謝金

※人件費は対象外とする。

5 助成件数及び助成金額

選考により優秀と認められた共同研究 1 件程度とし、1 件当たりの助成金額は 100 万円を上限とする。なお、助成金額は平成 30 年 3 月末までに執行を完了するものとする。

6 応募書類の提出方法

サイボウズ上のファイル管理、「教職員」フォルダの「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」にある「平成 29 年度 連携型共同研究助成申請書」をダウンロードし必要事項を記入、押印の上、各学部の学科・専攻及び研究科で取りまとめてダイバーシティ推進室 「鈴木」または「長谷川」あてに電子媒体及び紙媒体で 5 部（本 1 部、副 4 部）提出すること。

7 継続申請

単年度毎に申請するものとするが、継続して申請することができる。

8 研究成果報告書の提出

採択された者は、別紙様式により研究成果報告書を作成の上、平成 30 年

4 月末までに所属する共同研究実施機関連絡協議会委員（藤田ダイバーシティ推進室長）あてに提出するものとする。

なお、継続して申請し採択された場合は、採択された年度の翌年の 4 月末までに所属する共同研究実施機関連絡協議会委員（藤田昌子）あてに提出するものとする。

9 応募締め切り

平成 29 年 3 月 15 日（水）17 時

10 採択結果の通知

平成 29 年 5 月中旬の予定

11 その他

- (1) 本事業の予算の範囲内で助成するため、申請した金額から減額することがある。
- (2) 採択された者は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）事業が実施する研修、シンポジウム等に積極的に参加すること。
- (3) 申請者若しくは共同研究者は、助成金の交付までに研究倫理研修又は CITI Japan の e-ラーニングプログラム等を受講すること。
- (4) 採択された者は、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）事業が文部科学省へ提出する「事業報告書」などの作成に当たり研究業績等の情報の提供について協力するものとする。

本助成に関する問合せ先

ダイバーシティ推進室

鈴木（内線：338）

長谷川（内線：472）